

調査

平成 30 年 6 月期企業動向アンケート調査（第 93 回）
～前期比やや悪化、来期は今期比改善の見込み～

1. アンケート回答企業の今期（4～6月期）の業況判断DI（全体）は「▲5」と、前期比2P悪化した。来期（7～9月期）の見通しは「▲1」と今期比4P改善の見込み。

<全般的業況判断DIの動き>

業種	DI		
	前期	今期	来期見通し
全 体	▲ 3	▲ 5	▲ 1
製 造 業	▲ 5	▲ 11	0
建 設 業	7	13	6
卸 小 売 業	▲ 5	▲ 14	▲ 7
サ ー ビ ス 業	▲ 8	▲ 4	▲ 6

2. 業種別では、製造業と卸小売業が前期比悪化した一方、建設業とサービス業は改善した。来期は、製造業が前期比11P改善しマイナスが解消され、建設業は、公共工事の受注等でプラスを維持する見込み。

3. 資金繰りDIは、全体で前期比3P改善し、業種別では建設業、卸小売業が改善した。設備・店舗等DIは、全体で「不足」の度合いが前期比縮小し、業種別では製造業、卸小売業で改善した。雇用者数DIは、全体で「不足」が前期比横ばいで、業種別でも、全ての業種で不足感が依然強い。

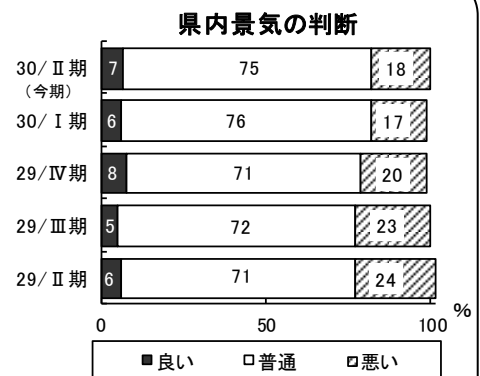
4. 今年の夏季賞与支給（見込み）総額は、前年比「横ばい」が最も多く、1人あたりの平均支給倍率は1.49倍、平均支給額は31万円であった。

5. 平成29年度の採用者数は、全体で1,854人、うち、県内出身者は1,406人、外国人が61人であった。業種別では、製造業が752人（うち、県内544人、外国人50人）と最も多い。採用者の履歴では、「中途採用」が1,243人（うち、県内926人、外国人59人）と最も多かった。

○ 現在の県内景気をどう見ていますか？

<「普通」が75%>

県内景気の判断は「普通（75%）」「悪い（18%）」「良い（7%）」で、前期と比べ、ほぼ横ばいの結果となった。今期の回答企業の業況判断DIが前期比やや悪化したものの、株価や為替に大きな変動が見られないことから、県内景気の判断を据え置く傾向がうかがえる。



—アンケート調査の概要—

実施期間：平成30年6月1日～6月16日

対象先：県内に本社または支店等を有する企業（600社）

内容：①景況判断

②自社の業況

③平成30年夏季賞与支給状況について

④平成29年度の採用者数について

調査方法：郵送によるアンケート

回収状況：回答企業 314社（回答率 52.3%）

※本調査は、当所と宮崎県が共同で実施し、調査結果は県政にも活用されることとなります。

<回答企業内訳>

		業 種				資 本 金		
		製造業	建設業	卸小売業	サービス業	3千万円未満	1億円未満	1億円以上
企業総数	314 100.0%	101 33.1%	67 22.0%	85 27.9%	52 17.0%	147 52.5%	106 37.9%	27 9.6%
県 央	145 47.5%	30	28	49	38	65	54	14
県 北	70 23.0%	28	19	19	4	34	23	6
県 南 西	90 29.5%	43	20	17	10	48	29	7

注)業種、資本金、所在地の未記入企業があり、総数と一致していない。下段は企業構成比率。

<所在地区分>

県 央：宮崎市、西都市、東諸県郡、児湯郡

県 北：延岡市、日向市、東臼杵郡、西臼杵郡

県南西：都城市、小林市、えびの市、日南市、串間市、北諸県郡、西諸県郡

<業種区分>：サービス業には、製造、建設、卸小売業以外の業種を含む

<文中の用語>

前期：平成30年3月期調査

今期：平成30年6月期調査

来期：平成30年9月期調査

I期：1～3月、II期：4～6月

III期：7～9月、IV期：10～12月

DI (Diffusion Index)

「好転・増加・過剰」の回答割合(%)—「悪化・減少・不足」の回答割合(%)=DIで、景気動向を判断する指標のひとつ。

P：ポイント

1. 全般的業況判断

(前期比) (表1、図1)

<悪化>

今期の全体における全般的業況DI(「好転」-「悪化」)は「▲5(前期比2P悪化)」と、2期連続で悪化した。

業種別では、製造業、卸小売業でDIが前期比悪化した一方、建設業、サービス業は改善した。

従業員別は「100~199人(▲23)」、資本金別では「1億円以上(▲18)」の悪化が目立った。

表1. 今期の全般的業況(業種別・規模別)

		単位: %、ポイント				
項目	業況	好転 (A)	悪化 (B)	今期DI (A)-(B)	前期 DI	
全体	(314)	19	24	▲5	▲3	
業種	製造業(104)	16	27	▲11	▲5	
	建設業(71)	27	14	13	7	
	卸小売業(86)	16	30	▲14	▲5	
	サービス業(53)	17	21	▲4	▲8	
従業員	50人未満(163)	22	22	0	▲3	
	50~99人(69)	19	25	▲6	5	
	100~199人(34)	6	29	▲23	▲9	
	200人以上(39)	15	26	▲11	▲11	
資本金	3千万円未満(151)	20	23	▲3	▲4	
	1億円未満(111)	17	24	▲7	▲3	
	1億円以上(27)	15	33	▲18	0	

不明分は除く、()は回答企業数

2. 業種別DI

業況(前期比)、売上・利益(前年同期比)

○製造業 (図2、次頁表2)

前期比悪化

今期の全般的業況DIは、前期比6P悪化して「▲11」となった。分野別では、「機械器具」「電気電子部品」「その他」はマイナスを解消したが、「窯業土石」「化学製品」「繊維製品」「木材木製品」は、「受注の減少」「コストの増加」などからマイナスに転じた。

来期は、「受注増による増産」や「夏物商品の製造」等により、DIは「0」と11P改善の見込み。

図2. 製造業DI

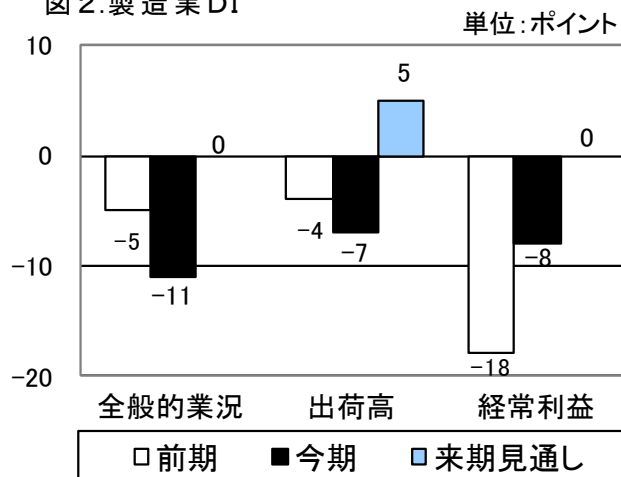


図1. 全般的業況のDI推移

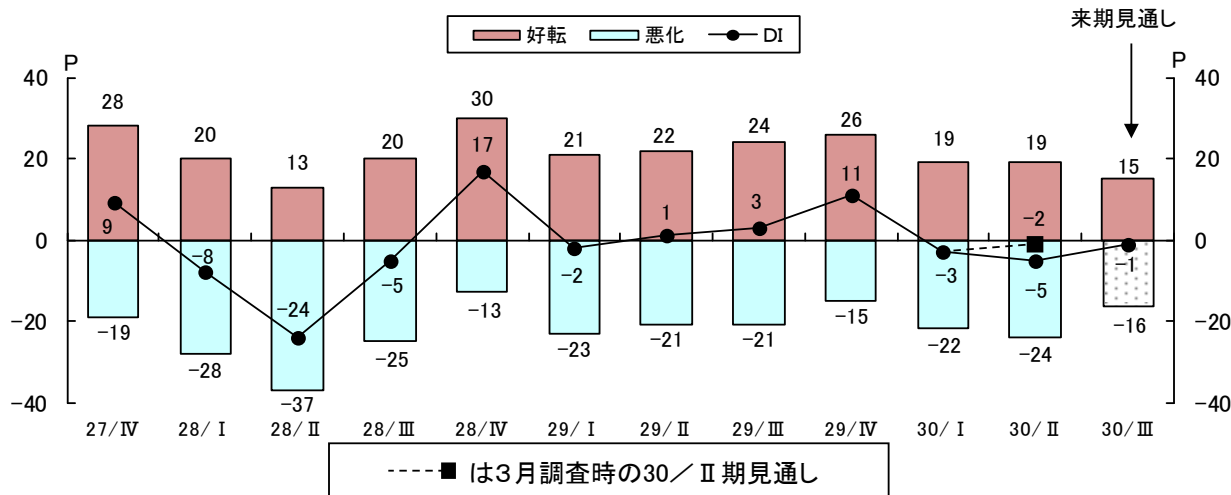


表 2. 製造業 9 分野における業況 DI

分野	単位: %、ポイント			今期DI	前期DI
	好転	不変	悪化		
食料品・飲料	16	56	28	▲ 12	▲ 18
繊維製品	0	71	29	▲ 29	15
木材木製品	13	60	27	▲ 14	7
化学製品	0	67	33	▲ 33	33
窯業土石	0	20	80	▲ 80	20
機械器具	17	66	17	0	▲ 25
金属製品	13	62	25	▲ 12	▲ 20
電気電子部品	33	67	0	33	▲ 100
その他製造業	28	52	20	8	▲ 4

○ 建設業 (図 3)

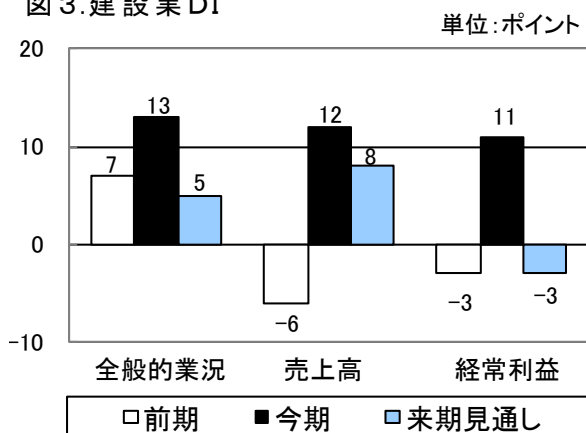
前期比改善

今期の全般的業況 DI は、前期比 6 P 改善して、「+13」となった。

公共工事が年度初めに減少した等「悪化」の回答が一部にあるものの、「県外の案件を受注」「消費税率の引上げを見越した設備投資や住宅建築の案件増」など、「好転」の回答も多かった。

来期は、「公共工事の増加」「営業力の強化」等、「好転」の回答が多いものの、「今後の見通しが不透明」等、「悪化」の回答も増え、DI は「+5」の見込み。

図 3. 建設業 DI



○ 卸小売業 (図 4)

前期比大幅悪化

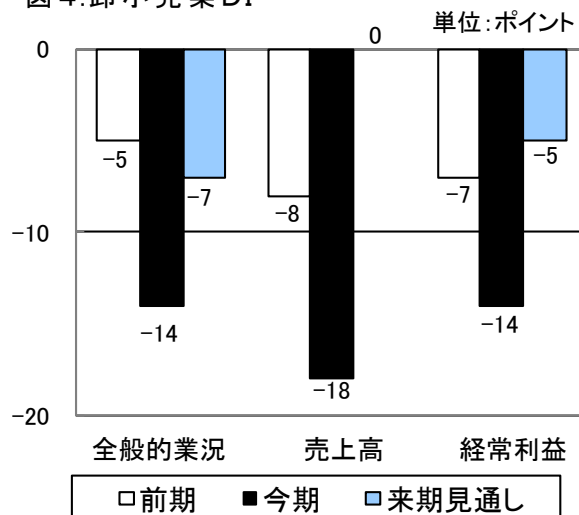
今期の全般的業況 DI は「▲14」と、

前期比 9 P 悪化した。

「春物商品の売上増」など季節的要因から「好転」の回答は一部にあるものの、「燃油の高騰」「競争の激化」などで、「悪化」の回答が上回った。

来期は、「競合店の出店」「仕入れ単価の上昇」「燃油販売量の減少」などで「悪化」を見込む回答が多いものの、「中元商戦」など「好転」の回答もあり、DI は「▲7」に改善する見込み。

図 4. 卸小売業 DI



○ サービス業 (次頁図 5)

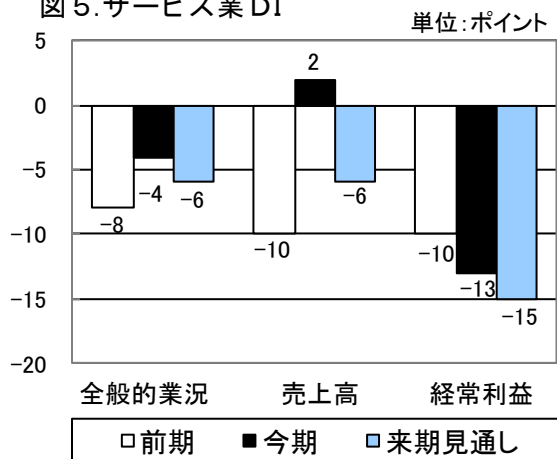
前期比改善

今期の全般的業況 DI は「▲4」と、前期比 4 P 改善した。

「春の行楽シーズン」「人手不足による人材派遣の依頼増」「インバウンド増による売上増加」など、「好転」の回答が増えた。

来期は「夏休みの需要増」「新たな顧客の開拓」等、「好転」の回答があるものの、「競争の激化」「人件費の増加」「業務の縮小」等、「悪化」も多く、DI は「▲6」へ悪化する見込み。

図5. サービス業DI



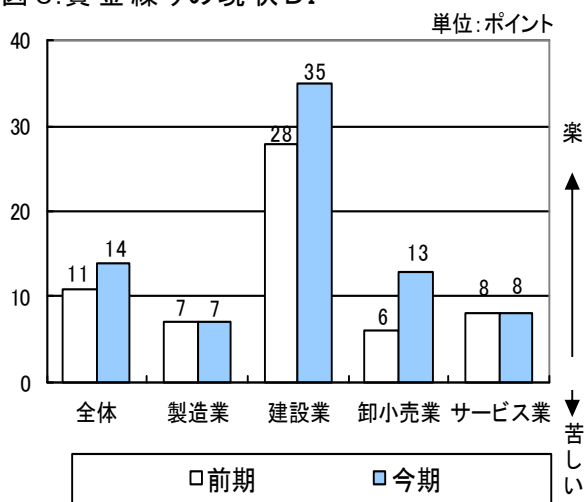
3. 資金繰りの現状 (図6)

全体の資金繰りはやや改善

資金繰りの現状DI(「楽」-「苦しい」)は、「全体」で「+14」と前期比3P改善した。

業種別は、建設業、卸小売業が前期比改善し、製造業、サービス業は横ばいとなった

図6. 資金繰りの現状DI



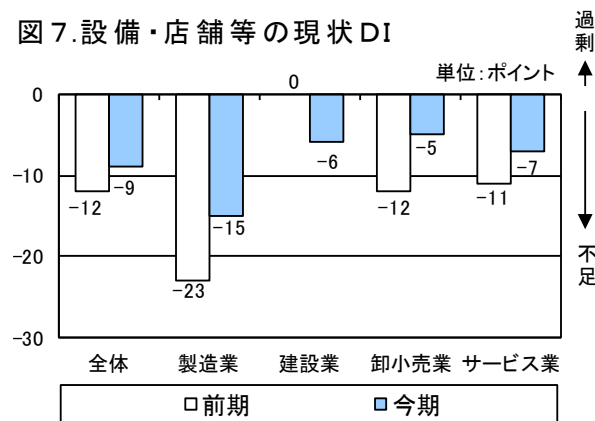
4. 設備・店舗等の現状 (図7)

全体では、やや改善

設備・店舗等の現状DIは「全体」で「▲9」と、前期比3P改善した。

業種別では、製造業、卸小売業、サービス業で前期より「不足」の幅が縮小した。

図7. 設備・店舗等の現状DI



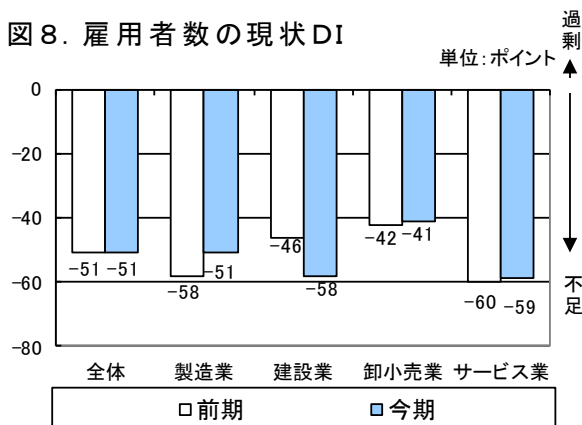
5. 雇用者数の現状 (図8)

不足の状態は変わらず

雇用者数の現状DIは、「全体」で前期比横ばいの「▲51」となった。

業種別では、製造業は「▲51」と、不足の幅が7P縮小したが、建設業は、「▲58」と不足感が強まった。

図8. 雇用者数の現状DI



6. 平成30年夏季賞与支給状況

(次頁図9、表3)

“1人当たり”はわずかに上昇

平成30年夏季賞与支給(見込み)総額は、全体で前年比「横ばい(57.6%)」が最も多く、業種別では、卸小売業の66.2%が「横ばい」と回答した。ただ、1人当たりの平均支給状況は、全体の倍率が「1.49倍」、支給額が「31万円」と、前年をわずかに上回った。

図9. 平成30年夏季賞与支給(見込み) 総額(前年比)

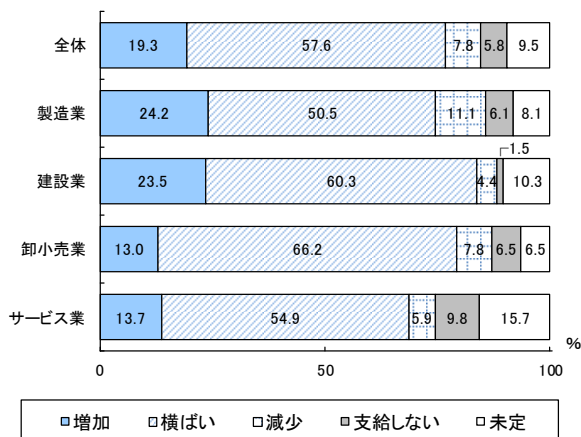


表3. 平成30年夏季賞与支給(見込み) 1人あたり平均支給状況

単位: 倍、万円

業種	賞与	倍率		支給額	
		H29年	H30年	H29年	H30年
全	体	1.48	1.49	30	31
製	造業	1.40	1.45	28	28
建	設業	1.54	1.57	34	36
卸	小売業	1.63	1.58	30	32
サ	ービス業	1.34	1.34	27	30

(「支給なし」「未定」「不明分」を除いた企業(250社)の平均値)

7. 平成29年度の採用者数(表4、図10)

「中途採用」が最多

平成29年度の採用者数は、全体で1,854人、「うち、県内」が1,406人(構成比75.8%)、外国人は61人(同3.3%)となった。

業種別では、製造業(752人)が最も多く、サービス業(636人)と続いた。「うち、県内」の採用者数は、各業種で7~8割を占めた。外国人は製造業が50人を採用した。

履歴別では、「中途採用」が1,243人[うち、県内は926人(構成比74.5%)]で、職業経験を持つ者を多く採用する傾向にある。

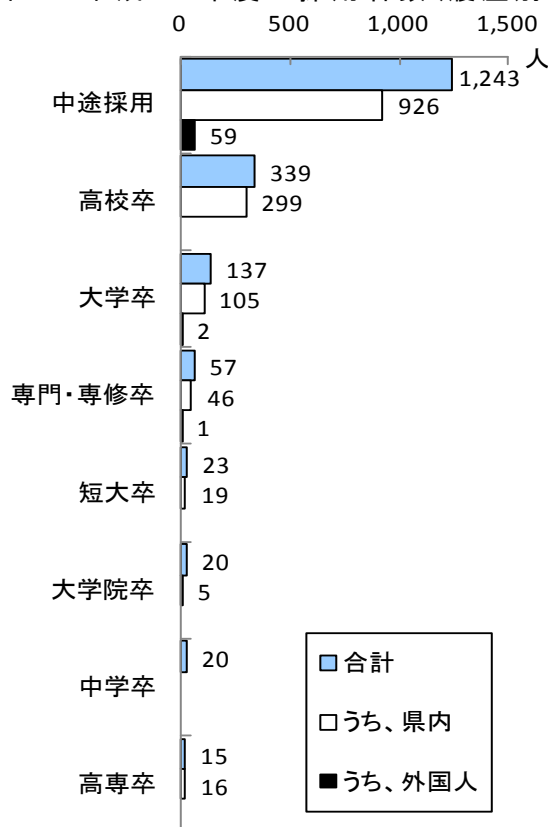
表4. 平成29年度の採用者数(業種別)

単位: 人、%

業種	採用者数		
	全 体	うち、県内	うち、外国人
合 計	1,854	1,406 (75.8)	61 (3.3)
製 造 業	752	544 (72.3)	50 (6.6)
建 設 業	240	189 (78.8)	2 (0.8)
卸 小 売 業	226	170 (75.2)	7 (3.1)
サ ー ビ ス 業	636	503 (79.1)	2 (0.3)

(企業数: 216社)

図10. 平成29年度の採用者数(履歴別)



(企業数: 216社)

今回の調査では、業況判断DIが前期比悪化したものの、来期は改善が見込まれる。夏季賞与では、1人当たり支給額がわずかに増えた。平成29年度の採用者数は、中途採用が最も多く、業種では製造業が最も多かった。製造業は外国人も多く採用していた。雇用者数の不足感が強まるなか、今後とも企業の人材確保の状況を注視する必要がある。

(勝池)

第93回企業動向アンケート結果(業種別)

		<今期見込み>				<来期見通し>			
		好転 増加 (A)	不変 (B)	悪化 減少 (C)	D I (A)-(C)	好転 増加 (A)	不変 (B)	悪化 減少 (C)	D I (A)-(C)
アンケート回答 企業の全般的業況	全 体	19	57	24	▲ 5	15	69	16	▲ 1
	製 造 業	16	57	27	▲ 11	15	70	15	0
	建 設 業	27	59	14	13	15	75	10	5
	卸 小 売 業	16	54	30	▲ 14	14	65	21	▲ 7
	サービス業	17	62	21	▲ 4	13	68	19	▲ 6
売上(出荷)高	全 体	25	46	29	▲ 4	21	61	18	3
	製 造 業	22	49	29	▲ 7	20	65	15	5
	建 設 業	32	48	20	12	23	62	15	8
	卸 小 売 業	19	44	37	▲ 18	21	58	21	0
	サービス業	28	46	26	2	19	56	25	▲ 6
経常利益	全 体	22	50	28	▲ 6	17	62	21	▲ 4
	製 造 業	22	48	30	▲ 8	20	60	20	0
	建 設 業	27	57	16	11	14	69	17	▲ 3
	卸 小 売 業	19	48	33	▲ 14	17	61	22	▲ 5
	サービス業	23	41	36	▲ 13	13	59	28	▲ 15
		現 状							
		楽 過剰 (A)	普 通 適正 (B)	苦 しい 不足 (C)	D I (A)-(C)				
資金繰り	全 体	27	60	13	14				
	製 造 業	20	67	13	7				
	建 設 業	42	51	7	35				
	卸 小 売 業	27	59	14	13				
	サービス業	23	62	15	8				
設備・店舗等	全 体	7	77	16	▲ 9				
	製 造 業	7	71	22	▲ 15				
	建 設 業	4	86	10	▲ 6				
	卸 小 売 業	10	75	15	▲ 5				
	サービス業	6	81	13	▲ 7				
雇用者数	全 体	4	41	55	▲ 51				
	製 造 業	5	39	56	▲ 51				
	建 設 業	3	36	61	▲ 58				
	卸 小 売 業	3	53	44	▲ 41				
	サービス業	4	33	63	▲ 59				